

—— 2017年版 ——

健康管理事業 実績報告

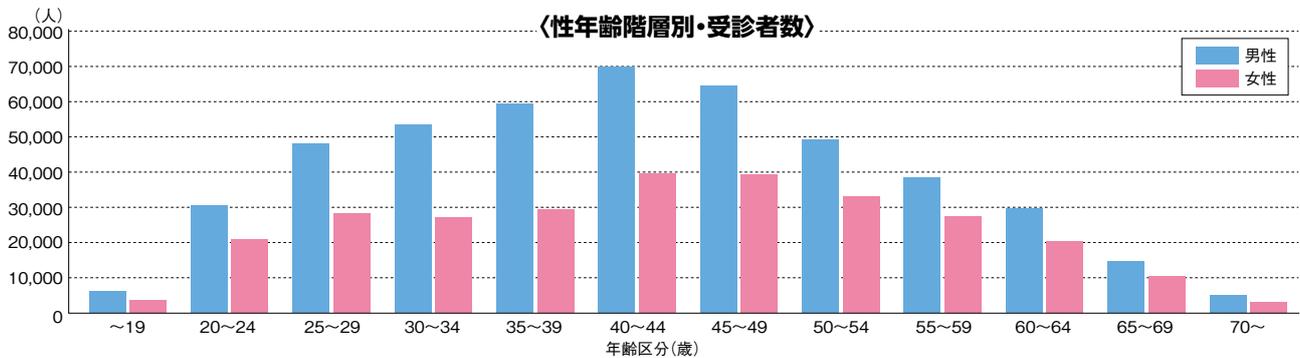


平成28年度 健康管理事業実績

定期健康診断受診状況

■平成28年度職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

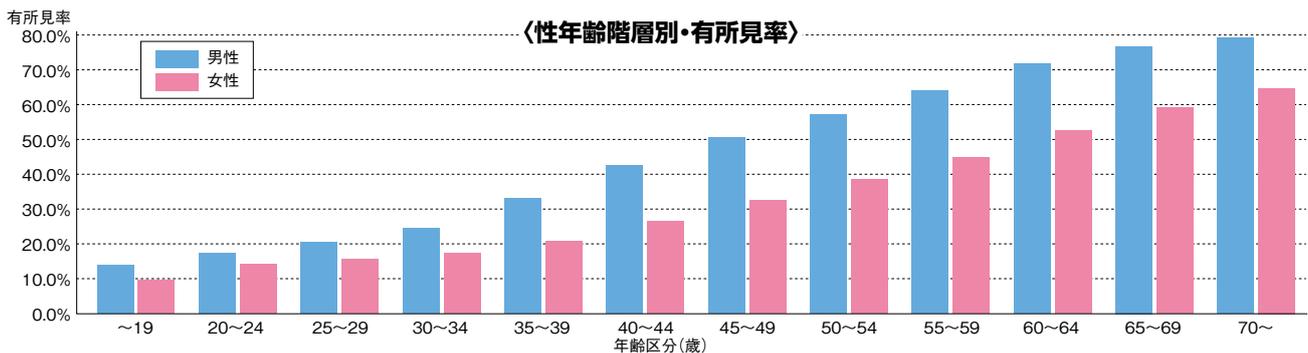
■ 性年齢階層別・受診者数と割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)
~19	6,156	1.3%	3,481	1.2%	9,637	1.3%
20~24	30,486	6.5%	20,980	7.4%	51,466	6.8%
25~29	48,203	10.3%	28,316	10.0%	76,519	10.2%
30~34	53,608	11.4%	26,974	9.6%	80,582	10.7%
35~39	59,552	12.7%	29,280	10.4%	88,832	11.8%
40~44	69,968	14.9%	39,441	14.0%	109,409	14.6%
45~49	64,639	13.8%	39,388	14.0%	104,027	13.8%
50~54	49,330	10.5%	32,980	11.7%	82,310	11.0%
55~59	38,345	8.2%	27,481	9.7%	65,826	8.8%
60~64	29,727	6.3%	20,178	7.2%	49,905	6.6%
65~69	14,693	3.1%	10,445	3.7%	25,138	3.3%
70~	4,902	1.0%	3,032	1.1%	7,934	1.1%
合計	469,609	100.0%	281,976	100.0%	751,585	100.0%

■集計対象の受診者総数は、751,585人(男性469,609人、女性281,976人)でした。男女とも60歳以上(平成28年度82,977人、平成27年度81,710人)の受診者が増加する一方、30代~40代前半の受診者数が減少しています(平成28年度278,823人、平成27年度283,810人)。

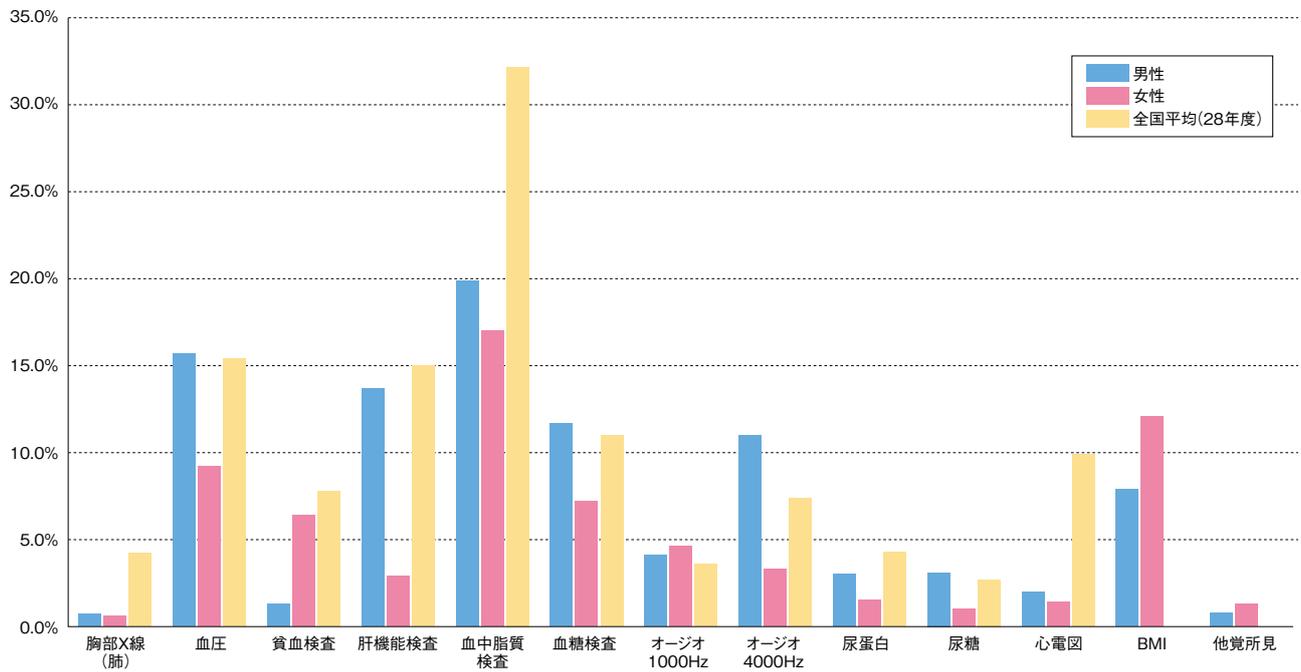
■ 性年齢階層別・所見のあった者の割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	有所見者数(人)	有所見率(%)	有所見者数(人)	有所見率(%)	有所見者数(人)	有所見率(%)
~19	857	13.9%	333	9.6%	1,190	12.3%
20~24	5,295	17.4%	2,968	14.1%	8,263	16.1%
25~29	9,923	20.6%	4,375	15.5%	14,298	18.7%
30~34	13,179	24.6%	4,660	17.3%	17,839	22.1%
35~39	19,715	33.1%	6,091	20.8%	25,806	29.1%
40~44	29,758	42.5%	10,487	26.6%	40,245	36.8%
45~49	32,553	50.4%	12,838	32.6%	45,391	43.6%
50~54	28,220	57.2%	12,692	38.5%	40,912	49.7%
55~59	24,491	63.9%	12,340	44.9%	36,831	56.0%
60~64	21,318	71.7%	10,592	52.5%	31,910	63.9%
65~69	11,276	76.7%	6,160	59.0%	17,436	69.4%
70~	3,878	79.1%	1,961	64.7%	5,839	73.6%
合計	200,463	42.7%	85,497	30.3%	285,960	38.0%

■健診項目全体の有所見率は38.0%(男性42.7%、女性30.3%)でした。年齢とともに上昇し10歳代では男女合わせて12.3%で最も低くなっています。全国有所見率53.8%(厚生労働省 平成28年度結果より)と比較すると、KKC有所見率(38.0%)は低くなっています。

■ 性別健診項目別・有所見率

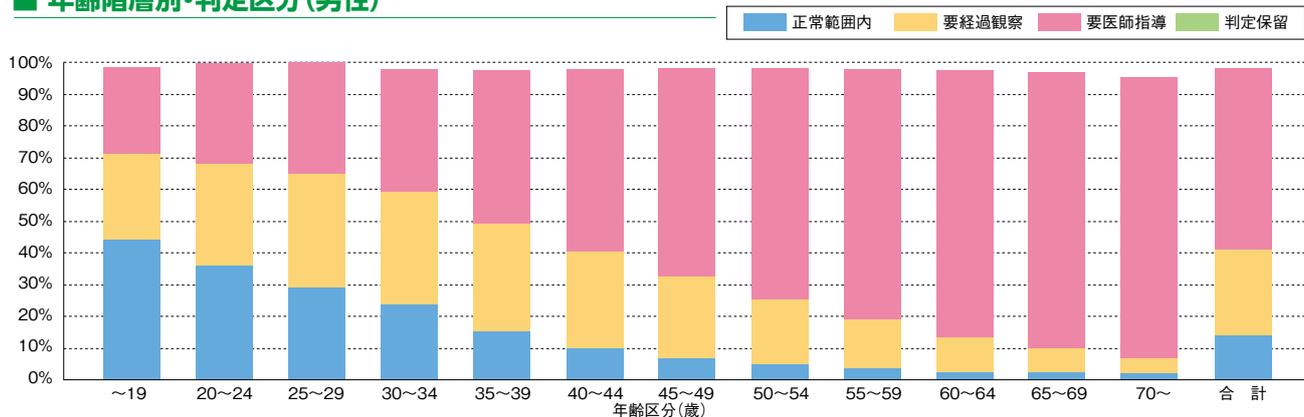


性別	胸部X線(肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ1000Hz	オージオ4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.7%	15.7%	1.3%	13.7%	19.9%	11.7%	4.1%	11.0%	3.0%	3.1%	2.0%	7.9%	0.8%
女性	0.6%	9.2%	6.4%	2.9%	17.0%	7.2%	4.6%	3.3%	1.5%	1.0%	1.4%	12.1%	1.3%
全国平均(28年度)	4.2%	15.4%	7.8%	15.0%	32.2%	11.0%	3.6%	7.4%	4.3%	2.7%	9.9%	—	—

■胸部X線検査(肺)有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。
 ※血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

平成28年度 健康管理事業実績

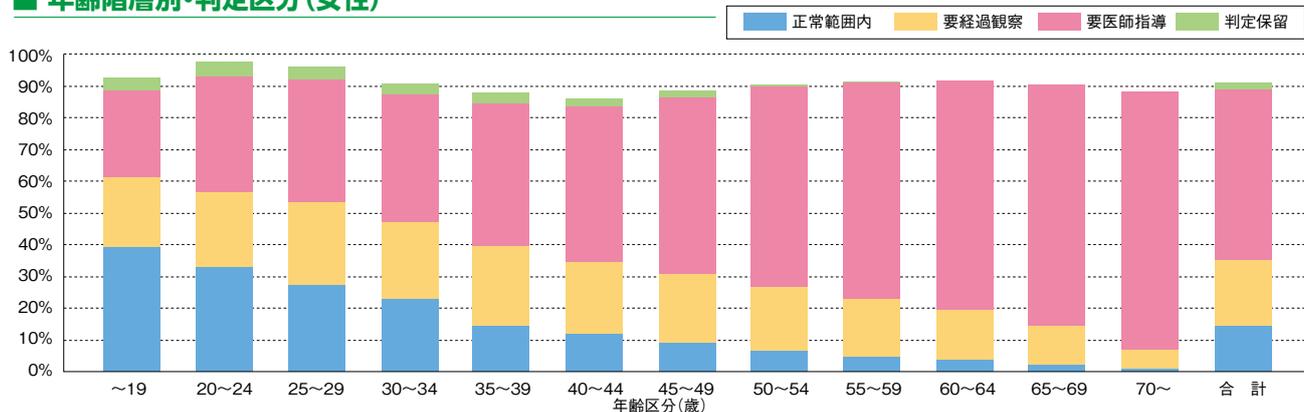
■ 年齢階層別・判定区分(男性)



年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	6,156	2,713	44.1%	1,662	27.0%	1,680	27.3%	0	0.0%
20～24	30,486	10,969	36.0%	9,767	32.0%	9,676	31.7%	0	0.0%
25～29	48,203	14,040	29.1%	17,264	35.8%	16,820	34.9%	2	0.0%
30～34	53,608	12,773	23.8%	18,927	35.3%	20,772	38.7%	1	0.0%
35～39	59,552	9,007	15.1%	20,230	34.0%	28,905	48.5%	10	0.0%
40～44	69,968	6,942	9.9%	21,157	30.2%	40,294	57.6%	10	0.0%
45～49	64,639	4,389	6.8%	16,582	25.7%	42,370	65.5%	12	0.0%
50～54	49,330	2,444	5.0%	10,077	20.4%	35,891	72.8%	12	0.0%
55～59	38,345	1,333	3.5%	5,908	15.4%	30,229	78.8%	3	0.0%
60～64	29,727	716	2.4%	3,193	10.7%	25,058	84.3%	6	0.0%
65～69	14,693	318	2.2%	1,121	7.6%	12,801	87.1%	2	0.0%
70～	4,902	96	2.0%	223	4.5%	4,355	88.8%	1	0.0%
合計	469,609	65,740	14.0%	126,111	26.9%	268,851	57.2%	59	0.0%

■平成27年度健康診断の総受診者中、要経過観察は26.4%、要医師指導は56.5%でしたが、それと比較して、平成28年度は0.5～0.7ポイント高いものの、大きな変化はみられませんでした。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

■ 年齢階層別・判定区分(女性)



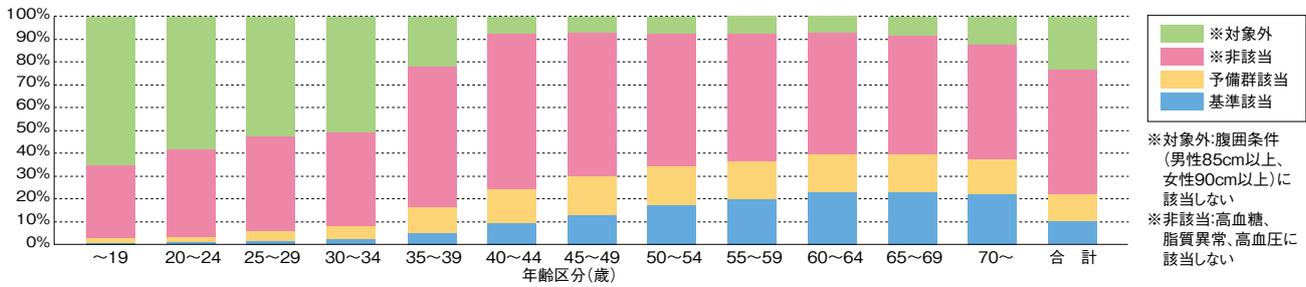
年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	3,481	1,375	39.5%	772	22.2%	919	26.4%	168	4.8%
20～24	20,980	6,767	32.3%	5,251	25.0%	7,529	35.9%	885	4.2%
25～29	28,316	7,794	27.5%	7,075	25.0%	11,171	39.5%	1,052	3.7%
30～34	26,974	6,027	22.3%	6,480	24.0%	11,065	41.0%	877	3.3%
35～39	29,280	4,743	16.2%	6,960	23.8%	13,306	45.4%	868	3.0%
40～44	39,441	4,336	11.0%	9,120	23.1%	19,559	49.6%	1,034	2.6%
45～49	39,388	3,426	8.7%	8,665	22.0%	22,109	56.1%	882	2.2%
50～54	32,980	1,971	6.0%	6,648	20.2%	20,947	63.5%	303	0.9%
55～59	27,481	1,281	4.7%	4,853	17.7%	19,016	69.2%	15	0.1%
60～64	20,178	723	3.6%	3,009	14.9%	14,943	74.1%	3	0.0%
65～69	10,445	233	2.2%	1,274	12.2%	7,935	76.0%	1	0.0%
70～	3,032	34	1.1%	180	5.9%	2,447	80.7%	1	0.0%
合計	281,976	38,710	13.7%	60,287	21.4%	150,946	53.5%	6,089	2.2%

■平成27年度 合計平均の要経過観察21.3%、要医師指導52.5%と比較し、平成28年度は0.1～1.0ポイント高いものの、大きな変化はみられませんでした。女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと考えられます。4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

性別年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

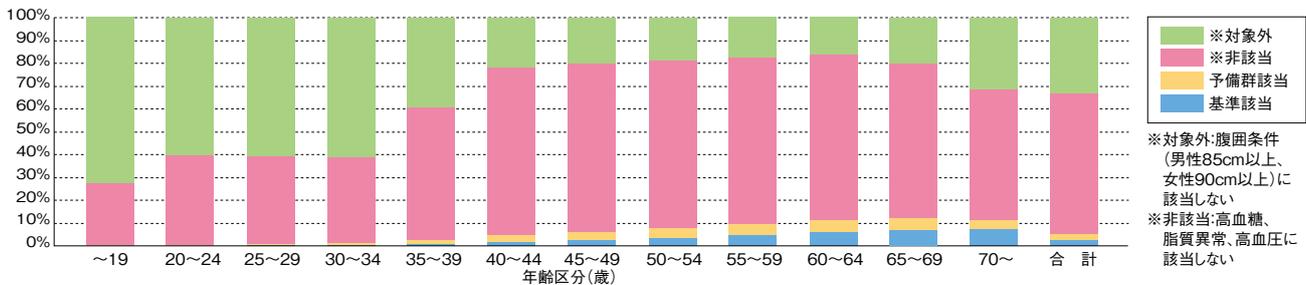
■ 男性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	6,156	38	0.6%	128	2.1%	1,959	31.8%	4,031	65.5%
20～24	30,486	234	0.8%	755	2.5%	11,620	38.1%	17,877	58.6%
25～29	48,203	677	1.4%	2,156	4.5%	19,910	41.3%	25,460	52.8%
30～34	53,608	1,121	2.1%	3,220	6.0%	21,879	40.8%	27,388	51.1%
35～39	59,552	2,997	5.0%	6,542	11.0%	36,819	61.8%	13,194	22.2%
40～44	69,968	6,408	9.2%	10,594	15.1%	47,668	68.1%	5,298	7.6%
45～49	64,639	8,375	13.0%	10,805	16.7%	40,815	63.1%	4,644	7.2%
50～54	49,330	8,455	17.1%	8,391	17.0%	28,928	58.6%	3,556	7.2%
55～59	38,345	7,535	19.7%	6,488	16.9%	21,380	55.8%	2,942	7.7%
60～64	29,727	6,821	22.9%	4,920	16.6%	15,876	53.4%	2,110	7.1%
65～69	14,693	3,383	23.0%	2,407	16.4%	7,653	52.1%	1,250	8.5%
70～	4,902	1,090	22.2%	752	15.3%	2,466	50.3%	594	12.1%
合計	469,609	47,134	10.0%	57,158	12.2%	256,973	54.7%	108,344	23.1%



■ 女性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	3,481	1	0.0%	9	0.3%	942	27.1%	2,529	72.7%
20～24	20,980	10	0.0%	72	0.3%	8,250	39.3%	12,648	60.3%
25～29	28,316	39	0.1%	142	0.5%	10,903	38.5%	17,232	60.9%
30～34	26,974	67	0.2%	227	0.8%	10,106	37.5%	16,574	61.4%
35～39	29,280	215	0.7%	500	1.7%	17,029	58.2%	11,536	39.4%
40～44	39,441	548	1.4%	1,191	3.0%	29,059	73.7%	8,643	21.9%
45～49	39,388	877	2.2%	1,543	3.9%	28,995	73.6%	7,973	20.2%
50～54	32,980	1,068	3.2%	1,470	4.5%	24,211	73.4%	6,231	18.9%
55～59	27,481	1,235	4.5%	1,334	4.9%	19,977	72.7%	4,935	18.0%
60～64	20,178	1,168	5.8%	1,026	5.1%	14,701	72.9%	3,283	16.3%
65～69	10,445	700	6.7%	528	5.1%	7,124	68.2%	2,093	20.0%
70～	3,032	222	7.3%	116	3.8%	1,732	57.1%	962	31.7%
合計	281,976	6,150	2.2%	8,158	2.9%	173,029	61.4%	94,639	33.6%



【メタボリックシンドロームの判定基準】



平成28年度 労災二次健康診断

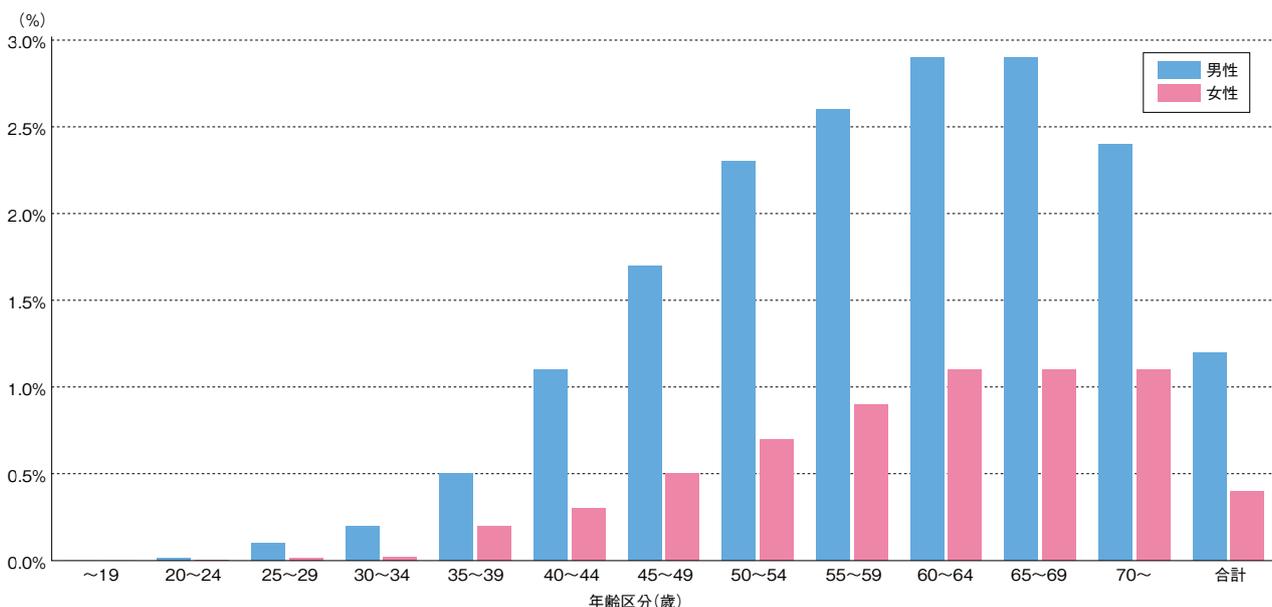
労災二次健康診断

■下記のガイドラインが示す1～4の項目全てを満たす受診者を対象とし、脳虚血疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。

平成28年度の検査対象者の割合は、受診者の0.9%(男性1.2% 女性0.4%)、前年と同じ比率(男女比率含む)でした。

項目	年齢(歳)	男性			女性			合計		
		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)	
			人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)
労災二次対象者	～19	6,156	0	0.0%	3,481	0	0.0%	9,637	0	0.0%
	20～24	30,486	10	0.0%	20,980	2	0.0%	51,466	12	0.0%
	25～29	48,203	37	0.1%	28,316	8	0.0%	76,519	45	0.1%
	30～34	53,608	84	0.2%	26,974	13	0.0%	80,582	97	0.1%
	35～39	59,552	296	0.5%	29,280	59	0.2%	88,832	355	0.4%
	40～44	69,968	762	1.1%	39,441	101	0.3%	109,409	863	0.8%
	45～49	64,639	1,115	1.7%	39,388	187	0.5%	104,027	1,302	1.3%
	50～54	49,330	1,124	2.3%	32,980	228	0.7%	82,310	1,352	1.6%
	55～59	38,345	998	2.6%	27,481	238	0.9%	65,826	1,236	1.9%
	60～64	29,727	875	2.9%	20,178	219	1.1%	49,905	1,094	2.2%
	65～69	14,693	430	2.9%	10,445	117	1.1%	25,138	547	2.2%
70～	4,902	120	2.4%	3,032	33	1.1%	7,934	153	1.9%	
合計	469,609	5,851	1.2%	281,976	1,205	0.4%	751,585	7,056	0.9%	

階層別・労災二次健診対象者(4項目該当)



【労災二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン】

以下の検査の1～4の項目すべてを満たすもの

1. 血 圧：収縮期血圧140mmHgまたは、拡張期血圧90mmHg以上
2. 血中脂質：LDLコレステロール140mg/dl以上、又はHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
3. 血 糖：空腹時血糖値(食後8時間以上)：110mg/dl 食後血糖値(食後8時間未満)：140mg/dl以上^{*1}
HbA1c(NGSP)：6.0%以上
4. 肥 満：BMI25以上、二次健診時に内蔵脂肪型肥満の判定として、ウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

【対象者除外条件】

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血など他の脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

※1KKC有所見追加基準

平成28年度 特殊健康診断・行政指導による健康診断

概 要

特殊健康診断の受診者数は、厚生労働省の統計では増加傾向にあります。KKCの集計においても概ね増加しています。特に、特定化学物質等の取扱者に対する健康診断受診者数の増加は続いています。主に製造業における新規導入化学物質の取扱い量の増加によるものと考えられ、それにとまない健康診断受診数が増加しています。

1. 特殊健康診断の所見率

①じん肺健康診断

■受診者数は増加しているものの、有所見率は近年1%未満で推移しており、厚生労働省の調査より低値を示しています。

対象物質	受診者数	管理区分（小陰影区分）											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,063	0	7,011	16	9	10	5	5	7	0	0	0	0
	比率	0.00%	99.26%	0.23%	0.13%	0.14%	0.07%	0.07%	0.10%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

②有機溶剤健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
有機溶剤	41,568	31,382	1,544	0	0	22	6,730	1,890
	比率	75.50%	3.71%	0.00%	0.00%	0.05%	16.19%	4.55%

③鉛健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
鉛	2,809	2,253	0	0	0	1	468	87
	比率	80.21%	0.00%	0.00%	0.00%	0.04%	16.66%	3.10%

④特定化学物質等健康診断

■受診者数は増加しているものの、業務上有所見とされる各管理区分の内訳は、過去と比較して大きな変化はありません。

対象物質	※延べ受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
特定化学物質	38,728	31,109	412	4	0	1	6,235	967
	比率	80.33%	1.06%	0.01%	0.00%	0.00%	16.10%	2.50%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診数で表記しています。

平成28年度 特殊健康診断・行政指導による健康診断

⑤石綿健康診断

■受診者数は年々減少する傾向ですが、業務上有所見とする各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,222	2,863	0	7	0	0	1,289	63
	比率	67.81%	0.00%	0.17%	0.00%	0.00%	30.53%	1.49%

⑥電離放射線健康診断

■前年度に比べ受診者数は増加していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	6,811	5,090	179	23	0	5	1,316	198
	比率	74.73%	2.63%	0.34%	0.00%	0.07%	19.32%	2.91%

⑦歯科健康診断

■前年度に比べ受診者数は増加していますが、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科	4,760	1	854	3,882	24	4
	比率	0.02%	17.94%	81.55%	0.50%	0.08%

2. 行政指導による健康診断の所見率

紫外線・赤外線業務従事者健診

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線 業務従事者	2,757	2,272	34	3	0	2	5	441
	比率	82.41%	1.23%	0.11%	0.00%	0.07%	0.18%	16.00%

騒音作業健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	14,173	5,094	4,601	3,165	573	324	0	0	119	297
	比率	35.94%	32.46%	22.33%	4.04%	2.29%	0.00%	0.00%	0.84%	2.10%

T：聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合（管理 Rに属するものを除く）

T0：当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

VDT作業健康診断

■各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
VDT作業	14,182	8,194	472	2,026	0	0	1,107	2,383
	比率	57.78%	3.33%	14.29%	0.00%	0.00%	7.81%	16.80%

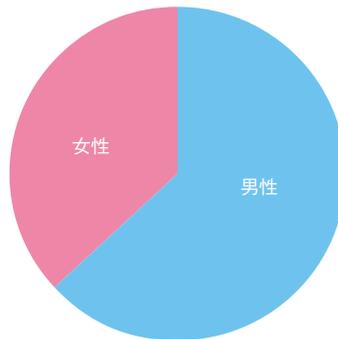
ストレスチェック

1. ストレスチェック集計(全般)

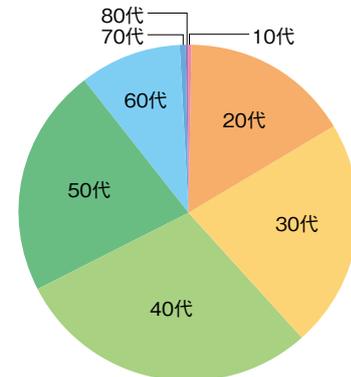
集計対象期間	2016/04/01 ~ 2017/03/31	受検者数	117,238	受検事業所数	1,027
--------	-------------------------	------	---------	--------	-------

性別	受検者数	割合
男性	74,168	63.3%
女性	43,070	36.7%

■受診割合:全体集計



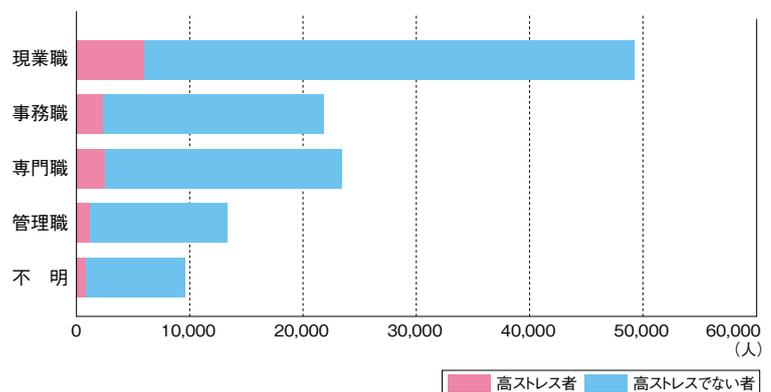
■年齢別受診割合:全体集計



年齢階層	受検者数	割合
10代	624	0.5%
20代	18,899	16.1%
30代	25,713	21.9%
40代	33,968	29.0%
50代	25,977	22.2%
60代	11,254	9.6%
70代	774	0.7%
80代	29	0.0%

紙面受検者数	114,387
紙面受検事業所	1,010
Web受検者数	2,851
Web受検事業所	45

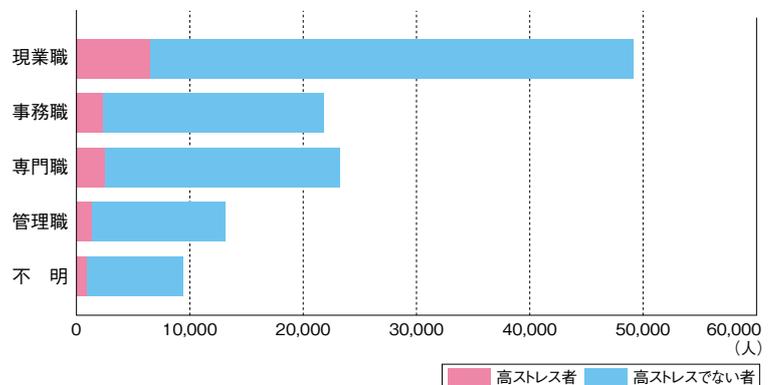
■合計点法による高ストレス者数



■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,953	49,176	12.1%
事務職	2,365	21,858	10.8%
専門職	2,516	23,391	10.8%
管理職	1,163	13,262	8.8%
不明	835	9,551	8.7%

■素点法による高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	6,446	49,176	13.1%
事務職	2,324	21,858	10.6%
専門職	2,456	23,391	10.5%
管理職	1,316	13,262	9.9%
不明	833	9,551	8.7%

高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-厚生労働省HPより抜粋-

ストレスチェック

■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

平均値 出典:平成19年度総括・分担報告書

表4.職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値および標準集団との比較より
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

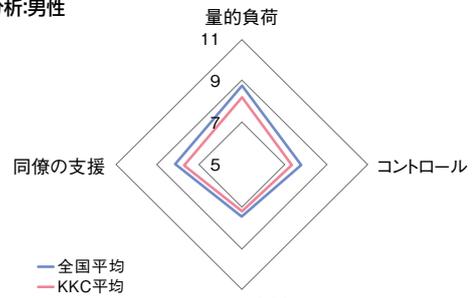
■集団分析KKCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.2	7.5	7.2	7.7
女性	7.9	7.2	6.9	7.9

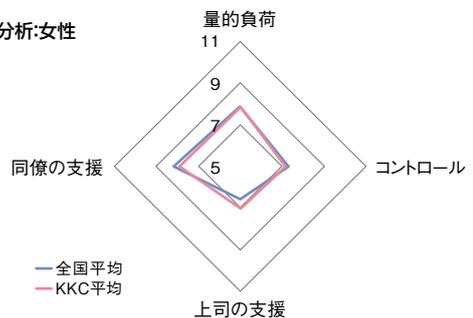
■全国平均とKKC平均の差

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.5	0.4	0.3	0.4
女性	0.0	0.0	-0.3	0.3

■集団分析:男性



■集団分析:女性



男性は、全ての項目において全国平均を下回っています。

■集団分析職種別全国平均(東京医科大学の調査より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
女性	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0

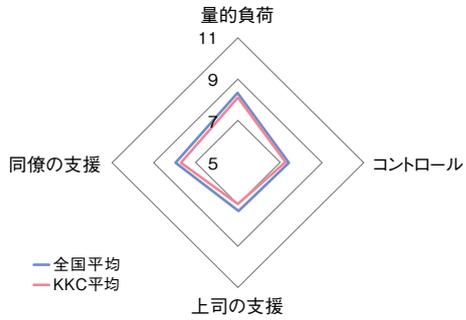
■集団分析KKCにて受検された事業所職種別の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.0	7.3	7.0	7.6
	事務職	8.4	7.8	7.7	8.0
	専門職	8.8	7.8	7.6	8.1
	管理職	8.9	8.2	7.8	8.0
	不明	6.3	5.7	5.4	5.8
女性	現業職	7.8	6.9	6.6	7.9
	事務職	7.6	7.7	7.2	8.0
	専門職	9.0	7.3	7.6	8.5
	管理職	9.5	8.0	7.6	8.3
	不明	6.4	6.0	5.5	6.5

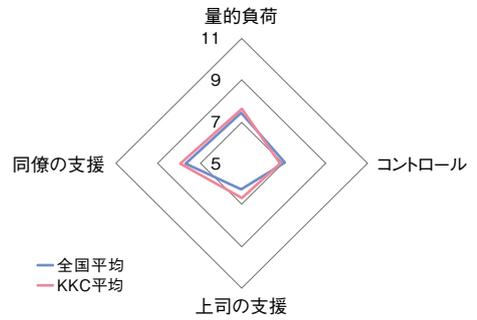
■全国平均とKKC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	0.5	0.2	0.4	0.4
	事務職	0.3	0.2	0.0	0.2
	専門職	-0.1	0.1	-0.2	-0.1
	管理職	0.2	0.2	0.2	0.4
女性	現業職	-0.3	0.3	-0.3	-0.1
	事務職	0.0	-0.1	-0.4	0.1
	専門職	-1.1	-0.1	-0.9	-0.3
	管理職	-0.2	-0.3	-0.9	-0.3

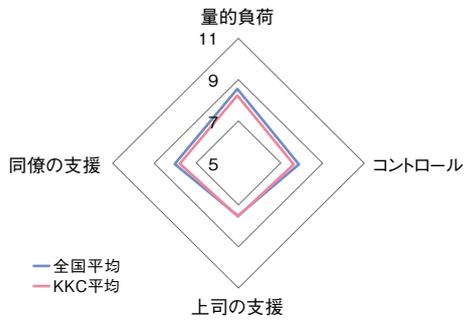
■ 集団分析: 男性現業職



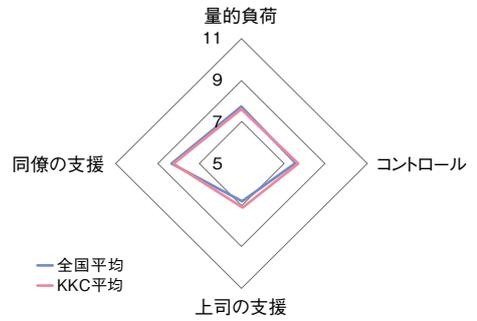
■ 集団分析: 女性現業職



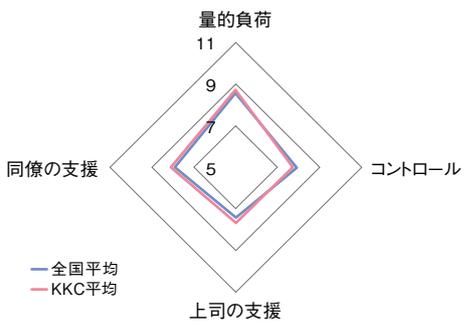
■ 集団分析: 男性事務職



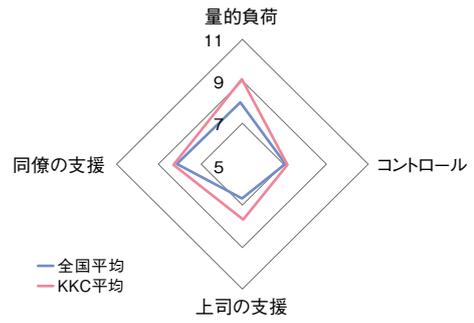
■ 集団分析: 女性事務職



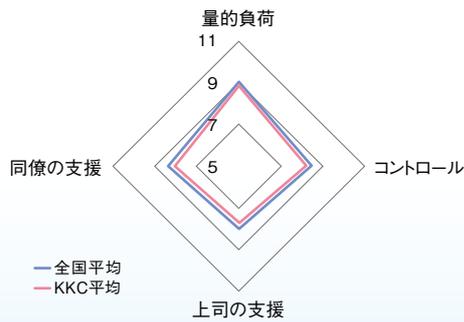
■ 集団分析: 男性専門職



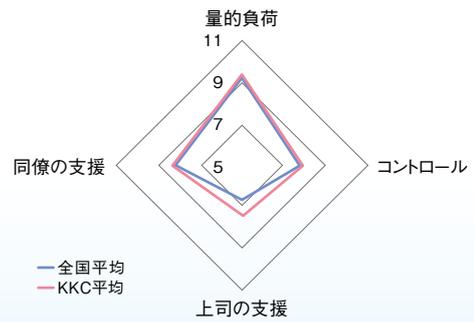
■ 集団分析: 女性専門職



■ 集団分析: 男性管理職



■ 集団分析: 女性管理職



男性は、全国平均との差異があまり顕著には現れていませんが、女性は、専門職・管理職で差異がみられました。



KKC 近畿健康管理センター

URL <http://www.zai-kkc.or.jp/>



- インキ:大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷